

第 9 章 異常水質事故発生状況

I 対象期間

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

II 対象事故

平成26年度に環境局環境対策課で把握した魚死亡、油浮遊、濁水、pH異常等の異常水質事故

III 発生状況

1 異常水質事故発生件数

(1) 種類別事故発生件数

平成26年度に発生した異常水質事故は44件であった。前年度の50件と比べ6件減少した。異常水質事故の種類別では、油浮遊が17件と最も多く、次いで着色水が14件、濁水が5件、魚死亡が3件、pH異常が1件、その他が4件であった。

(2) 水系別異常水質事故発生件数(表IX-1)

水系別では、東京湾で11件、多摩川水系で22件、鶴見川水系で11件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が9件、着色水が1件、その他が1件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が3件、油浮遊が4件、着色水が9件、濁水が3件、pH異常が1件、その他が2件であった。河川別では、多摩川本川で2件(魚死亡1件、その他1件)、三沢川で2件(魚死亡1件、着色水1件)、旧三沢川で2件(着色水2件)、平瀬川で11件(魚死亡1件、油浮遊2件、着色水6件、濁水1件、その他1件)、二ヶ領用水で3件(油浮遊2件、pH異常1件)、五反田川で2件(濁水2件)であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、油浮遊が4件、着色水が4件、濁水が2件、その他が1件であった。河川別では、矢上川で8件(油浮遊3件、着色水3件、濁水1件、その他1件)、麻生川で2件(油浮遊1件、着色水1件)、黒須田川で1件(濁水1件)であった。

表IX-1 水系別異常水質事故発生件数

水系	種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	その他の水質異常	地下浸透	合計
東京湾	川崎港運河内		8	1			1		10
	川崎港運河外		1						1
	小計	0	9	1	0	0	1	0	11
多摩川	多摩川本川	1					1		2
	三沢川	1		1					2
	旧三沢川			2					2
	平瀬川	1	2	6	1		1		11
	二ヶ領用水		2			1			3
	五反田川				2				2
	登戸排水路								0
	山下川								0
	六ヶ村堀下水路								0
	宮内下水路								0
	大丸用水								0
	五ヶ村堀								0
	小計	3	4	9	3	1	2	0	22
	鶴見川	鶴見川本川							
矢上川			3	3	1		1		8
有馬川									0
渋川									0
麻生川			1	1					2
早野川									0
真福寺川									0
片平川									0
江川									0
市外河川					1				1
小計		0	4	4	2	0	1	0	11
合計		3	17	14	5	1	4	0	44

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表IX-2)

原因者が判明した異常水質事故は20件で、工場・事業場によるものが13件、建設工事によるものが5件、船舶によるものが0件、その他が2件であった。

工場・事業場に起因する13件の異常水質事故(油浮遊9件、着色水1件、その他1件)の原因は、施設の破損が2件、作業ミスが1件、施設の管理不備が7件、火災消火が2件、原因不明が1件であった。建設工事に起因する5件の異常水質事故(着色水1件、濁水3件、pH異常1件)の工事内容は、河川改修・管理が1件、建築工事が2件、道路工事が2件であった。また、原因不明の異常水質事故は24件で、魚死亡が3件、油浮遊が10件、着色水が8件、濁水が2件、その他が1件であった。

表IX-2 原因別異常水質事故発生件数

原因		種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	その他の水質異常	地下浸透	合計
工場・事業場	施設の破損			2						2
	作業ミス				1					1
	施設の管理不備			2	3			2		7
	火災消火			1				1		2
	原因不明				1					1
	小計		0	5	5	0	0	3	0	13
建設工事	下水道工事									0
	河川改修・管理					1				1
	水道・ガス工事									0
	建築工事				1		1			2
	道路工事						2			2
	その他の工事									0
小計		0	0	1	3	1	0	0	5	
船舶	施設の破損									0
	作業ミス									0
	施設の管理不備									0
	原因不明									0
	小計		0	0	0	0	0	0	0	0
その他			0	2	0	0	0	0	0	2
原因不明			3	10	8	2	0	1	0	24
合計			3	17	14	5	1	4	0	44

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6年度～平成26年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6年度から平成26年度までの種類別異常水質事故発生件数を表IX-3に示す。

過去21年間の平均発生件数は37件/年であった。

表IX-3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

年度	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	3	58
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	17	341
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	14	242
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	5	82
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	23
その他	1	1	2	2	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	4	38
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	785

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6年度から平成26年度までの水系別異常水質事故発生件数は表IX-4に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河(36件)、多摩川水系では平瀬川(197件)、鶴見川水系では矢上川(112件)が最も多かった。

表IX-4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

水系	年度																				合計		
	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25		H26	
東京湾	川崎港運河外		1		4	1	1			3	1	2	3	4	3	2	1			2	1	29	
	末広運河						1		1		2				1					1	1	7	
	田辺運河	2	1	2	2			2	1	1				2	2	1		1	5	1	2	25	
	大師運河			1			1	1	1	1	3	1	4						1	1		15	
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4			3	1		2		1	1	1	3	4	36
	千鳥運河					1		2			2		2				1			1	1	2	12
	塩浜運河	1	3	1								1		1	1	1			4				13
	池上運河	1		1						1	2		2			1						1	9
	夜光運河		1																				1
	水江運河			1											1								2
	浅野運河				1				1	2	1			1			1				1		8
	桜掘運河					1				2					2				1				6
	南渡田運河						1							1	2								4
	白石運河											1	2				1				1		5
	川崎航路							1							1								2
境運河												1	1									2	
多摩運河																		1	1			2	
小計	6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	11	178	
多摩川	多摩川本川				3	2		1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	2	45	
	三沢川		1	1	1	3		2	1	1	1			2	2	4	1	1	1	2	2	26	
	旧三沢川		1							1		1								1	2	6	
	平瀬川	5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	197	
	二ヶ領用水	6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	3	71
	五反田川	1			2	1	1	2	2				2	2	1		1	1	1	4	2	2	25
	登戸排水路	1			1	1						1											4
	山下川							2								1	1	1		1			6
	六ヶ村堀下水路				1			2									1			1			5
	宮内下水路			1				1			1						1						4
	大丸用水				2			1	1					1									5
五ヶ村堀							1															1	
小計	13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	22	395	
鶴見川	鶴見川本川				1	1	1						1		1		3		1			10	
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	10	11	7	5	9	8	112
	有馬川			1	3			4		2		1		3		1	3			4	2		24
	渋川	1		1	1			1		1								1					6
	麻生川			1	3		1	1		1	1				2	3	2	4	2	3	2	2	28
	早野川			1				1						1		1							4
	真福寺川	1			1	1					1			1		1	1			1	2		10
	片平川	1		1				1						1				1		1	2		8
	江川				1			1															2
	市外河川*							1											1	4		1	7
小計	5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	11	211	
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	785	

* 鶴見川水系の市外河川：平成12年度（真光寺川）、平成23、24、26年度（黒須田川）

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6年度から平成26年度までの原因別異常水質事故発生件数を表IX-5に示す。

原因不明の異常水質事故は過去21年間で平均23件/年であり、全体の61%となっている。原因の特定には、関係機関との連携に基づく異常水質事故発生当初の初動調査が重要である。

この初動調査における関係機関の連絡及び協力体制を確立するため、川崎市では庁内関係機関との協議を基に、平成6年に策定した「川崎市異常水質事故対策要領」に基づき対応している。

表IX-5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因		年度																					合計
		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
工場・事業場	施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2		1	1				1	2	26	
	作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5			2	2	4	1	3	1	65
	施設の管理不備		4	3	5	1		5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	7	61
	火災消火			1	1										1							2	5
	原因不明																		1			1	2
	小計	7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	13	159
建設工事	下水道工事	1				1		1	1						2	1	2				1		11
	河川改修・管理		1	1		3					1	1		1					2		1		11
	水道・ガス工事								1						1	2					1		5
	建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	2	28
	道路工事				1				1	1			1				2				1	2	9
	その他の工事														2	2				3	1		8
小計	1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	5	72	
船舶	施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1						1		19
	作業ミス		1			1	1			2			1			1		1	2	1			11
	施設の管理不備												1				1						2
	原因不明													1									1
	小計	0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	2	2	0	33
その他	1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	2	41	
原因不明	15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	24	480	
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	785	

3 異常水質事故発生状況一覧

平成26年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表IX-6に示す。

表 - 6 異常水質事故発生状況一覧

発生・ 受信月日	発生場所			事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名					
4月10日 ・ 4月10日	4月10日	東京湾	—	魚死亡 ○	①川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 環境局環境対策課 ②川崎海上保安署 消防局 事業者 ③川崎海上保安署 環境局環境対策課	船舶に油圧式の人道橋をかける最中に、橋の油圧ホースから油が流出したという連絡を受け、関係機関が出勤し、油膜処理等を行った。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
4月17日 ・ 4月17日	4月17日	鶴見川	矢上川	魚死亡 ○	①宮前区役所道路公園センター 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	矢上川上野川橋付近で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、職員が現場に到着した時には既に油膜は見られず、原因特定には至らなかった。		
4月17日 ・ 4月17日	4月17日	多摩川	平瀬川	魚死亡 ○	①宮前区役所道路公園センター 消防局 神奈川県警察 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。現地到着時には油膜は見られず、原因特定には至らなかった。		
4月25日 ・ 4月25日	4月25日	多摩川	二ヶ領用水	魚死亡 ○	①高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 事業者 ② ③	高津区二子の解体现場から排水が二ヶ領用水へ流れ、pHを測定したところ、アルカリであり、pHが判明したところ、アトキシアミドを指示し、応急措置として、原因者が敷地境界に土嚢を積んで、敷地外へ排水が流れないようにした。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
4月25日 ・ 4月25日	4月25日	鶴見川	矢上川	魚死亡 ○	①高津区役所道路公園センター 中部下水道事務所 環境局環境対策課 ② ③	矢上川大日橋より少し下流の排水口から白濁水が流れ出ているという連絡があり、関係機関と実地調査を行ったところ、近隣の事業所から研磨剤と石けん水の混じった水が道路側溝を流れて川に流れたことが判明した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
5月8日 ・ 5月8日	5月8日	多摩川	平瀬川支川	魚死亡 ○	①多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川支川で白濁水が流れており、関係機関と周辺調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分		措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死亡	その 油 浮 遊				
5月10日 ・ 5月12日	5月12日	多摩川	平瀬川	宮前区 初山	○		①環境局環境対策課 ② ③	平瀬川へ流れ込む水路に黒い水が流れてザリガニが死んだという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
5月13日 ・ 5月13日	5月13日	東京湾	末広運河	川崎区 夜光	○		①川崎海上保安署 ②川崎海上保安署 ③	末広運河で油が浮遊しているという連絡があり、関係機関が実地調査と油膜処理を行ったが、原因特定には至らなかった。		
5月20日 ・ 5月20日	5月22日	多摩川	多摩川本 川	中原区 宮内	○		①中原区役所道路公園センター 中部下水道事務所 環境局環境対策課 ② ③中原区役所道路公園センター 中部下水道事務所 環境局環境対策課 ①消防局 港湾局 環境局環境対策課 ②港湾局 ③港湾局 環境局環境対策課	悪臭がするが水路から臭いがするのとはなにかという連絡があり、関係機関と実地調査を行ったところ、近隣事業所の汚水が直接水路に流れていることが判明した。	判明	原因者に、排水系統の確認をさせるとともに、汚水を下水管に流すよう配管接続等の指導を行なった。
6月7日 ・ 6月7日	6月7日	東京湾	京浜運河	川崎区 千鳥町	○		①川崎海上保安署 ②川崎海上保安署 事業者 ③環境局環境対策課	事業所で火事があり、油流出の可能性がありという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。排水口にオイルフェンスを設置し、海に油が流れないよう措置を取った。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
6月7日 ・ 6月10日	6月10日	東京湾	池上運河	川崎区 扇町	○		①川崎海上保安署 ②川崎海上保安署 事業者 ③環境局環境対策課	事業所から池上運河に油が流出したという連絡を受け、関係機関が実地調査を行った。事業者がオイルフェンスを設置し、関係機関が油膜処理を行なった。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
6月8日 ・ 6月9日	6月13日	多摩川	平瀬川	宮前区 初山	○		①環境局環境対策課 ② ③	平瀬川の支川との合流後の河川でオレンジ色の水が流れているという連絡があった。連絡時点でオレンジ色が薄くなったことあり、原因特定には至らなかった。		
6月10日 ・ 6月10日	6月10日	鶴見川	黒須田川	麻生区 王禅寺	○		①麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 横浜市青葉土木事務所 ② ③	黒須田川に濁水が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
6月12日 ・ 6月12日	6月12日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川	○		①神奈川県警察 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	矢上川上野川橋上流の水路から発泡水が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分		措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死亡	その 油 浮 遊				
6月12日 ・ 6月12日	6月12日	多摩川	平瀬川支 川	宮前区 初山		○	①消防局 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川支川で白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
6月14日 ・ 6月14日	6月14日	多摩川	三沢川	多摩区 菅	○		①消防局 環境局環境対策課 ② ③	三沢川上流から死んだアユが流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。アユは死んでいるがコイは元気に泳いでおり、周辺を確認したが、原因特定には至らなかった。		
6月19日 ・ 6月19日	6月19日	多摩川	多摩川本 川	多摩区 登戸	○		①多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	多摩川本川へ流れ込む水路にザリガニが死んでいるという連絡があり、関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
7月14日 ・ 7月14日	7月14日	鶴見川	矢上川	宮前区 梶ヶ谷	○		①宮前区役所道路公園センター 消防局 神奈川県川崎治水事務所 環境局環境対策課 ② ③	矢上川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。現地到着時には油膜が通報場所にはなく、下流側を流れており、原因特定には至らなかった。		
7月28日 ・ 7月28日	7月28日	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生		○	①宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川で漂白剤の臭いがする発泡水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。バックテスト等簡易試験を行い、水路をたどったところ、近隣事業所の汚水処理施設に投入した漂白剤による残留塩素により川に影響が出たことが判明した。	判明	原因者に、漂白剤の投入量を調節するよう指導した。
7月30日 ・ 7月30日	7月30日	多摩川	二ヶ領用 水	高津区 久地		○	①高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	二ヶ領用水近くにある事業所敷地内のスクラップから、雨水とともに油が道路側溝に流れ、二ヶ領用水に流れ込んでいるという連絡があった。関係機関と実地調査を行ったところ、事業所敷地前の道路側溝には油は見られず、原因特定には至らなかった。		
8月21日 ・ 8月21日	8月21日	東京湾	京浜運河	川崎区 東扇島		○	①川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ②消防局 港湾局 ③	大型トラックから燃料タンクが脱落し、軽油が路上に漏洩、170Lが道路側溝を経由して海へ流れたという連絡を受け、関係機関が移動し、油膜処理等を行った。	判明	原因者に、再発防止等の指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分	措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等	
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等						
8月21日 ・ 8月21日	8月21日	多摩川	平瀬川	宮前区 神木本町	魚 死 亡	油 浮 遊	○	① 高前区役所道路公園センター 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② 川崎海上保安署 ③ 環境局環境対策課	平瀬川一本橋上流の水路から白濁水が流れ ているのを発見し、関係機関と実地調査を 行った。水路上流をたどったところ、塗装業 者敷地内の流し台からの配管が道路側溝に差 し込まれており、道路側溝がベンキで白く なっていることが確認された。流し台からの 排水を雨水側溝に流さないよう指導した。	原因者に、事故原因、事故 時の措置、再発防止策等を記 載した報告書の提出及び再発 防止の指導を行った。
8月23日 ・ 8月23日	8月23日	東京湾	田辺運河	川崎区 扇町	○	○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 環境局環境対策課 ② 川崎海上保安署 ③ 川崎海上保安署	田辺運河で油が浮遊しているという連絡が あり、関係機関が出動し、油膜処理等を行っ た。近隣の排水口から油の流出がないこと を確認したが、原因特定には至らなかった。	判明	
8月25日 ・ 8月25日	8月25日	東京湾	京浜運河	川崎区 千鳥町	○	○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ② 海上保安署 港湾局 ③ 港湾局 環境局環境対策課	事業所で火事があり、消火の際の降液が海 に流出する可能性があるとの連絡を受け、関 係機関と実地調査を行った。排水口にオイ ルフェンスを設置し、最終的には拡散処理を 行った。	判明	原因者に、事故原因、事故 時の措置、再発防止策等を記 載した報告書の提出及び再発 防止の指導を行った。
9月17日 ・ 9月17日	9月17日	東京湾	田辺運河	川崎区 大川町	○	○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 川崎区役所道路公園センター 南部下水道事務所 環境局環境対策課 ② 川崎海上保安署 港湾局 ③ 川崎海上保安署 環境局環境対策課	田辺運河で油が浮遊しているという連絡が あり、関係機関が出動し、実地調査を行なっ た。流出している排水口を確認してオイル フェンスを設置し、上流をたどったところ、 金鳳スクラップ等を取り扱っている事業所か ら油が流出したことが判明した。	判明	原因者に、再発防止等の指 導を行った。
10月1日 ・ 10月1日	10月1日	鶴見川	麻生川	麻生区 古沢	○	○	① 麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	麻生川に入る水路でガソリン臭のする油が 流れているという連絡を受け、関係機関と実 地調査を行った。現地確認時には油膜がかな り薄くなっており、下流の麻生川には油膜は なかった。ガソリン臭は確認できたが、原因 特定には至らなかった。		

発生・受信月日	発生場所				事故区分		措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚死亡	油浮遊				
10月1日 ・ 10月1日	10月1日	多摩川	平瀬川	高津区 久地	○	○	①国土交通省 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。現地確認時には油はほとんど見られず、原因特定には至らなかった。		
10月6日 ・ 10月6日	10月7日	多摩川	旧三沢川	多摩区 菅仙谷	○		①環境局環境対策課 ② ③環境局環境対策課	旧三沢川につながる水路へ事業所から黒い水が流れたという連絡があった。実地調査を行ったところ、事業所は既に廃業していたが、事業所入口にある雨水ますに黒い水が溜まっており、また、事業所から黒い水が流れた跡を確認した。	判明	原因者に、溜まっている着色水の回収を指導した。
10月23日 ・ 10月23日	10月23日	多摩川	平瀬川支 川	宮前区 菅生	○	○	①消防局 神奈川県警察 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川支川に白濁水が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。D値には異常はなく、上流を確認したが、原因特定には至らなかった。		
10月24日 ・ 10月24日	10月24日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川	○	○	①宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	矢上川上野川橋付近で白濁水が流れているという連絡があった。関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
10月28日 ・ 10月28日	10月28日	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町	○	○	①環境局環境対策課 ② ③環境局環境対策課	油水分離槽から残渣を掻き出す作業中、回収した残渣を入れたバットの底部に穴が開いており、残渣に含まれた着色水が雨水側溝を流れ、海へ流出したという連絡があった。	判明	原因者に対して、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
10月31日 ・ 10月31日	10月31日	多摩川	二ヶ領本 川	多摩区 生田	○	○	①多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	二ヶ領本川新川橋付近で上流から油が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。上流をたどったところ、旧三沢川から流れてきたことは確認できたが、原因特定には至らなかった。		
11月27日 ・ 11月27日	11月27日	鶴見川	麻生川	麻生区 上麻生	○	○	①神奈川県警察 麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ②麻生区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ③	麻生川で白濁水が流れているという連絡があり、関係機関と実地調査を行った。白濁水の流入水路をつきとめ、上流をたどったところ、調整池が白濁しており、この調整池に入る経路上流で建築工事を行っていた業者がベレンギの刷毛の洗いを流したことが判明した。調整池に溜まっていた白濁水を汲み取り、清掃した。	判明	原因者に、再発防止の指導を行った。

発生場所		事故区分		措置機関名		事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)		原因者 判明区分		原因者に対する措置 原因者の措置の概要等			
発生・ 受信月日	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚死 死亡	油浮遊	その他	① 調 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	① 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② 事業者 ③ 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課	矢上川 鶴見川	矢上川西ヶ崎橋付近の水路から濁水が流れ ているという連絡があり、関係機関と実地調 査を行った。水路上流をたどったところ、道 路工事をしていた事業者が濁水を流したこと が判明した。	判明	原因者に、水路の清掃と再 発防止の指導を行った。
12月19日 ・ 12月19日	12月19日	鶴見川	矢上川	高津区 子母口		○	○	① 消防局 神奈川県警察 上下水道局下水道水質課 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② 消防局 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ③ 消防局 高津区役所道路公園センター	高津区末長の路上で、トラックの事故によ り軽油が漏れたという連絡があり、関係機関 が動員し、実地調査を行った。道路上の ポールにぶつかってトラックの燃料タンクが 破損し、軽油が道路や側溝に流れた。砂を撒 いて、油の回収を行った。	判明	原因者に、燃料タンクに 残っている軽油が流れ出ない ようにするよう指導を行っ た。		
12月22日 ・ 12月22日	12月22日	鶴見川	矢上川	高津区 末長		○	○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ② 事業者 ③	東京湾に油が漏れたという連絡を受け、関 係機関が出動した。エアコン室外機の配管が 磨耗し、潤滑油が漏洩したことが判明した。 事業者が油膜処理を行った。	判明	原因者に、事故原因、事故 時の措置、再発防止策等を記 載した報告書の提出及び再発 防止の指導を行った。		
1月15日 ・ 1月15日	1月15日	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町		○	○	① 環境局環境対策課 ② 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課	五反田川で緑色の水が流れているという連 絡を受け、実地調査を行った。道路工事によ る濁水が流れ込み、川の深い部分が緑色に見 えることが判明した。	判明	原因者に、再発防止の指導 を行った。		
1月29日 ・ 1月29日	1月30日	多摩川	五反田川	多摩区 粟谷			○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ② 川崎海上保安署 消防局 港湾局 ③	京浜運河で油が100～200m程度浮遊してお り、関係機関が油膜処理等を行った。近隣の 排水口から油の流出がないことは確認した が、原因特定には至らなかった。				
2月5日 ・ 2月5日	2月5日	東京湾	京浜運河	川崎区 水江町		○	○	① 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	水路から旧三沢川に緑色の水が流れ込んで いるという連絡があった。関係機関と実地調 査を行ったが、現地到着時には緑色の水は見 られず、原因特定には至らなかった。				
2月25日 ・ 2月25日	2月25日	多摩川	旧三沢川	多摩区 菅仙谷			○	① 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	矢上川橋本橋付近で黄緑色の水が流れてい るという連絡があった。関係機関と実地調査 を行ったが、現地到着時には黄緑色の水は見 られず、原因特定には至らなかった。				
3月12日 ・ 3月12日	3月12日	鶴見川	矢上川	宮前区 野川			○						

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分		措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死 亡	その 油 浮 遊				
3月17日 ・ 3月17日	3月18日	多摩川	平瀬川支 川	多摩区 長沢		○	①宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③環境局環境対策課	河川で掘削工事が行われており、泥水がそのまま流れているという連絡があった。関係機関と実地調査を行ったところ、河川の護岸工事で濁水が流れたことが判明した。	判明	原因者に、再発防止の指導を行った。
3月19日 ・ 3月19日	3月19日	多摩川	五反田川	多摩区 生田		○	①多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	水路から五反田川に濁水が流れ込んでいるという連絡があった。関係機関と実地調査を行ったが、原因特定には至らなかった。		
3月20日 ・ 3月20日	3月20日	多摩川	三沢川	多摩区 菅		○	①国土交通省 神奈川県川崎治水事務所 多摩区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ②事業者 ③環境局環境対策課	三沢川で白濁水が流れており、また、多摩区菅の事業所から白濁水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。事業所付近の雨水まが白濁しており、事業所に確認したところ、ワックス付のモップの洗い水を流したことが判明した。	判明	原因者に、雨水マスの清掃と再発防止の指導を行った。
3月26日 ・ 3月26日	3月26日	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生		○	①宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	平瀬川柳橋と日向橋の間で青白い水が流れており、関係機関と実地調査を行った。柳橋と日向橋の間に流れ込む水路が白くなっていたので上流をたどったが、原因特定には至らなかった。		
小 計					3	17	24		判明：20	
合 計					44				不明：24	